

高校ラジオ作品コンクール

徳島市立高放送部が第2席

徳島市立高放送部のラジオドラマが、第46回高校ラジオ作品コンクール（東海ラジオ主催）の番組制作部門で、第2席の優秀賞（5点）に選ばれた。

作品は、地球滅亡が迫る未来を舞台にした「僕は世界最後の日にどうしてもあの子とデートがしたい」。2年生4人と3年生1人が



創作ラジオドラマが優秀賞に選ばれた徳島市立高放送部＝徳島市の同校

地球滅亡迫る未来描く

携わった。脚本は、2年遠藤亜衣子さん(17)が担当した。

主人公の男子高校生が、地球最後の日を前に、憧れの人とデートする夢をかなえるストーリー。パーソナルロボットや個性豊かなキャラクターが登場し、環境問題など地球滅亡の原因を作った人類への警鐘を鳴らす内容になっている。

音声だけで作品の雰囲気伝えるため、せりふの明瞭さや速度に加え、編集・加工作業が重要な要素。編集担当の2年田村昇瑚さん(17)は、「遊園地など、各シーンが思い浮かぶよう、効果音や響き方を工夫した」。

現在は、高校を舞台にした新しいドラマを制作中。遠藤さんは「受賞を次の作品作りの励みにしたい」と喜びを語った。（橋本）